

平成29年度に向けた出納局の施策の基本方針 ～ 厳正かつ効率的な出納局業務の追求 ～

H28年11月定例会（付託）
総務委員会資料
出納局

I 未収金の更なる縮減を目指し (新たな未収金削減目標の設定)

これまでの取組み

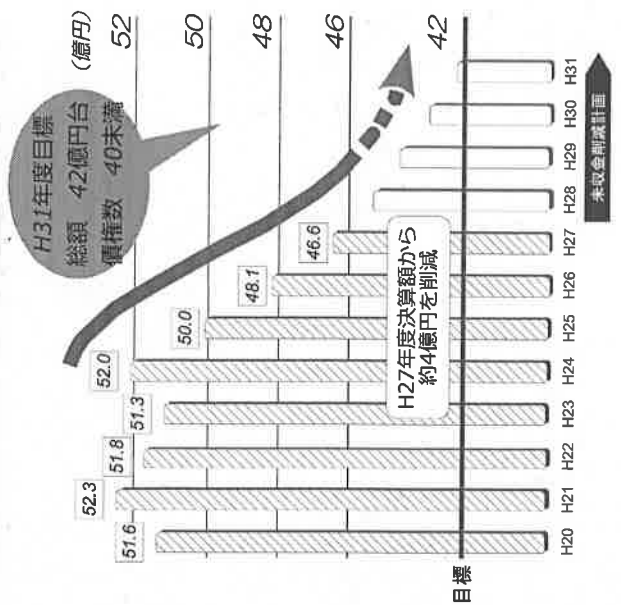
全庁的な未収金対策として、未収金対策委員会を設置し、未収金削減計画（25～28年度）を策定して重点未収金9債権を中心に取組みを推進した。

1年前倒しでほぼ削減目標を達成!!

平成29年度

新たな未収金削減計画の推進

- ・ 全庁一丸となった取組みの強化
- ・ 研修の充実による職員のスキルアップ
- ・ 県民負担の公平性と歳入の確保



II 全庁的な会計事務の効率化を 目指し (会計事務の働き方改革)

これまでの取組み

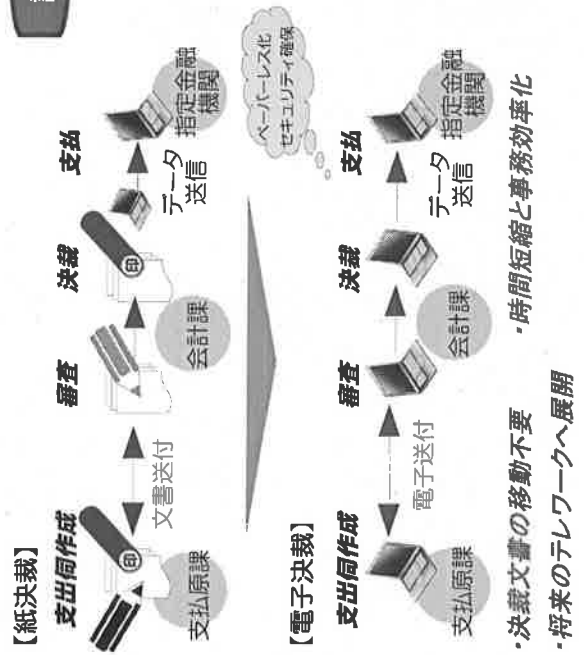
地方公会計に対応した財務会計システムの改修や、物品購入決議簿の電子化など、ICTを活用した会計事務の省力化に取り組んできました。

統一的基準の地方公会計に取組中!!

平成29年度

適正かつ効率的な会計書類の推進

- ・ 地方公会計による財務書類の作成
- ・ 会計事務の電子化を推進
- ・ セキュリティ対策の充実



III 建設生産システム全体の 生産性向上を目指し (設計・工事から検査まで)

これまでの取組み

工事検査管理システムの導入による工事成績評定の迅速化や、タブレット端末やドローンを活用した工事検査の機動性の向上を図ってきました。

ICTを活用し工事検査業務の効率化!!

平成29年度

設計・工事と一体となった効率化

- ・ 「ICT活用工事」に対応する
- ・ 検査基準の制定、講習会の開催等、検査体制整備

